



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

June 2004 No.12
 Chartered July 20, 1982

主題 YS THEME (2003~2004)

クラブ会長 : 『個性を認めて共に前進』
 国際会長 : "Be Agents of Change" 『変革の担い手となろう』
 アジア会長 : "New thinking, New Action"
 『新たな思考で、新たな行動を!』
 西日本区理事 : 『未来に架ける橋』
 中西部長 : 『分ち合い 共に歩むワイズ』

クラブ役員 Officers

会長 : 谷川 俊一
 副会長 : 松浦 孝次
 // : 石津 雅人
 書記 : 山田 孝彦 (主)
 // : 栗山 佳三
 会計 : 三浦 直之 (主)
 // : 鎌田 史朗
 外会長 : 松浦 和子
 Y連絡職員 : 浜野 昌保

月間強調テーマ : 『評価・計画』

€€€€ 6月の聖句 €€€€

【 Biblical Message of June 】

€€€€ 6月の例会 €€€€

【 June Club Meeting 】

あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。互いに忍び合い、責めるべきことがあっても、赦し合いなさい。主があなたがたを赦したように、あなたがたも同じようにしなさい。これらすべてに加えて、愛を身に着けなさい。愛はすべてを完成させるきずなです。また、キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。この平和にあずからせるために、あなたがたは招かれて一つの体とされたのです。いつも感謝していなさい。

(コロサイの信徒への手紙 3章12~15節)

€€€€ Attention Please €€€€

○ ゲストスピーカーの山口 幸 (つかさ) さんは、スウェーデンに留学し、帰国後 大阪大学大学院で 高齢者福祉を研究。山口さんの祖父が建設された社会福祉法人「光畑会」が今年7月に開設する「オリンピック兵庫」のコンセプトづくりから関わられてきました。画一的なケアから、利用者一人ひとりの生活を大切にするケアへー「我が家」に近い生活環境を実現することをめざして、今 立ち上げに尽力されています。

○ 6月 第1例会

日時: 2004年6月16日(水) 18:30~20:30
 場所: 東洋ホテル 3階

司会 福永 嘉彦君

1. 開会点鐘 谷川 俊一 会長
2. ワイズソング ー 同
3. ゲスト紹介 谷川 俊一 会長
4. 聖句朗読 隅田 保君
5. 日々の糧・晩餐 ー 同
6. ゲストスピーチ

「新しい介護がはじまっている」 山口 幸氏

(高齢者総合福祉施設「オリンピック兵庫」館長)

7. インフォメーション 各 担当
8. お誕生日祝い・ニコニコ献金 ー 同
9. 閉会点鐘 谷川 俊一 会長

○ 6月 第2例会

日時: 2004年6月23日(水) 18:30~20:30
 場所: 大阪YMCA土佐堀館9階

*6月例会当番 4班 (福永、池永、隅田、坂本)

*6月お誕生日 Happy Birthday!

黒田メネット26日、新保メネット 28日、

【 クラブ統計 Statistics 】 下欄()は、うち 広義会員を表わす

2004年5月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 21(1)名	メ ン	10(1)名	6名	5月:切手 210 gr.	5月: 13,400 円
例会出席 11(1)名	メネット	3名	名	現金 2,000円	
うちメグアップ 1名	ビジター	5名	名		(03年7月~04年5月の)
	ゲスト	3名	名	(03年7月~04年5月の)	累計: 305,900円
出席率 50.0%	合 計	21名	6名	累計:切手 5,804 gr.	(除く、クリスマス献金、
				現金 22,500 円	オークション、記念献金)

≡≡ 今月の聖句に寄せて ≡≡

ワイスメンズクラブの活動の単位である各個のクラブは、ドイツ語で言うGemeinschaft（グマインシャフト共同社会）です。それはお連帯とか結合をも意味しています。商取引等で繋がっているGesellschaft（ゲゼルシャフト利益社会）の対極にあるものです。

聖句にあるように、ワイスメン、ワイスメネットは互いに憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容でありたいものです。また、互いに遊び合い、責めるべきことがあっても教し合いなさい、と聖句は勧めています。

Gemeinschaftは、英語で言えばcommunityあるいはassociationを意味しています。associationはいつも申しあげているように共通の目標に向かって結び合った姿です。私たちは今年もまた、アメリカンの大きいプロジェクトに取り組もうとしております。今月の聖句を味わいつつ、共通の目標に向かった進みましよう。

(聖句選、コメント：黒田敬之)

5月 第1例会

【Report of the May Club Meeting】

(5月22日(土) 14:00~16:30)

大阪YMCA302号室)

フリテン：松浦 孝次

● 今月の例会は、デファレンスデイとして、「多文化共生社会を」をテーマに、「ならNPOプラザ」代表の仲川順子さんと「なら・ファミリー&フレンド」代表のアダルシュ・シャルマさんをお迎えして、土曜の午後開催しました。

ゲストに、大阪府青少年活動財団の焼野さん(富中メンの紹介)、なかのしまクラブの杉浦・松下・今井さん、ヴェクセルクラブの本田・岩間さん。わがクラブからは、メン10人(ちょっと寂しいですね)、メネット3人が出席しました。

● 藤原メンの司会、石津メンが聖句の朗読。中村茂高メンから、ゲストのお2人の紹介があって、まずアダルシュ・シャルマさんがスピーチ。

● シャルマさんはインドから1979年来日。奈良で24年生活されており、いま学校で英悟講師をするかわら、インド・日本の相互理解の増進に努めておられます。

インドは、面積、人口とも日本の9倍ある。多数の言語は、それだけの数の文化を産み、季節や宗教、食べ物や衣装もさまざま。しかし皆は、その違いを自然のこと、当たり前のこととして受けとめている。カースト制度もしかり。

しかし日本に来て、「平等」や「中流意識」には感激した。識字率は99%だ。いまIT革命を標榜するインドだが、30%の子どもは学校に行っていない。♂



(5月第1例会の風景 ① ゲストスピーカーのシャルマさん
インドのカースト制度の由来を話す)



(5月第1例会の風景 ② 仲川さんが「参加型学習ワーク」
のあと、その意味について解説された)

♂ 日本のよさを実感した。他方日本であつらく思つたのは、人々の、内と外に対する意識・態度の格差の大きさ。これからも、言葉、社会、文化、国の壁を越えて、人と人の出会いを大切にしていきたい。

● 仲川さんは、わがクラブへは3度目の来訪。全国に先駆け、奈良でNPOセンターを立ちあげた人(同センターの理事長)。

在日外国人の生活相談からはじめたが、いま80カ国のひとたちが聞っており、文字どおり多文化共生を実現している。そして学校や地域での国際理解プログラムを支援している、とのことでした。

ここで仲川さんは、会場のメンバーに、「参加型学習ワーク」(バースデラインと、ラベリングの2種類)を示され、みんなでわいわいと言いながら、異文化問題を体験することができました[写真下のまほう]。

● 浜野昌保メンから、「夏のフレンドシップキャンプ」は、大阪YMCAでは土佐堀Yが担当し、クリスマス献金から10万円拠出することが承認された、との報告。

富中メンからこれに関連して、5/24から1週間、テレビ8chで屋前に30秒のコマーシャル(キャンプへの子どもたちの参加者を募る)がながれる、との紹介がありました。多くの応募を期待したいものです。

2003/2004年度

クラブ運営を振り返って

1年の任期を終えて

(会長: 谷川 俊一)

松浦直前会長の熱心な働きを引き継いだ1年でした。今は「やっと会長の役割を終える時が来た」という安心感です。この気持ちは、「自分がよくやった」とか「しんどかった」と言うものではありません。これで会員の皆様にご迷惑をかけなくて過せる。ゆったりした感情です。

この1年は、私にとって楽しんでフィズについて学びを深めた1年でありました。

年度当初、クラブの1年間について私はいろんな夢と希望を話しましたが、メンバーの皆様には充実感を味わうことのない1年であったと感じています。しかし、万博記念公園での例会をはじめ、秋と春に実施した「健康ハイキング」等は、メンバーの心身の健康と交わりを深めることに大きく寄与したと思います。

次期会長の石津さんには、「フレンドシップキャンプ2004」はじめ大きなイベントが予定されていますが、石津さんらしさを発揮され、新たなセンチニアルクラブをスタートして下さるよう期待します。

各委員長から — この1年を振り返って

☆ 交流 IBC/DBC/YEEP/STEP

(委員長: 藤原 正巳)

1. 実現できた方針・施策

基本方針として策定した項目のうち、海外クラブとの活動態の情宣については、2003年7月以降、毎月アプスのIBC ClubNews欄で「Aloha from Hawaii」および「Bauhinia News」としてお知らせしています。

これらの情報を通じ、今、ハワイと香蘭の両クラブが何に取り組んでいるのか、目標や課題は何かなど、両クラブの活動態の理解に多量なりと役立ったのではないかと考えております。

2. 実現できなかった方針・施策

残念ながら下記の2項目については、任期中に具体的な策定・実施までには至りませんでした。

① クラブ単位の交流プログラムの実施の検討

② 国内 DBC 締結の必要性についての検討

これらの施策は、いずれもフィズライフをエンジョイ、クラブの活性化に役立つものであるので、新年号以降も引き続き検討課題として継続したいと考えております。

☆ 地産地消 CS/TOF (委員長: 中村 茂高)

① 「沖縄アメリカンスクール」 「ミャンマーチャイルドケア・プロジェクト」の支援

ミャンマーチャイルドケア・プロジェクトについては、4月例会で、田啓さんから、昨年12月のミャンマースタディーツアーで、支援金10万円を、ヤンゴン、マンダレーのYMCAに届けたとの報告を受た。沖縄アメリカンスクールには、支援金として10万円を贈ったため、来期、8月25日～28日の「多文化共生と多文化ミット～フレンドシップキャンプ」は招待するまでの準備が進められている。

② 「関西のちのち電話」に支援金として65,000円を贈った。その他、チャリティーコンサートやゼミに参した。

③ 「年度当選用シート」

37,800円 (14シートまたは@1800円×21人)

④ 「タイム・オブ・ファースト」

56,700円 (@2700円×21人)

⑤ ファミリーファストの募金は、11,734円

⑥ 「デパレンスター」として、5月22日、大阪YMCAで、イン仕身のタリシユ・シャルマさんと、仲川順子さん(ならNPO法人代表)をお招き、お話をゲームで異文化を理解する講演会を実施した。

☆ ファンド BF/EF/JWF (委員長: 栗山 佳)

この1年間、BF・切手集めにご協力いただきありがとうございました。おかげで、わがセンチニアルクラブのBF目標達成率は100%を超えることは確実です。

クラブ内のベスト5ポイントは、山田兄 14,355、栗山兄 12,245、中村隆兄 3,280、谷川寛兄 2,265、山中兄 1,680。(いずれも切手+現金ポイント)でした。

来期も全員がご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

一方ファンドについては、EF、JWFとも献金報告はありませんでした。

☆ EMC (委員長: 畠中 彬)

今年度のEMCの目標は、新会員の増加のみならず、現会員の会員活動を活発にし、会員の親睦を深めていこうということであった。特に、いままでの活動の中心は、文化的な活動であったため、今年からは会員の健康維持も考え、身体的・スポーツ的な活動を取り入れることにした。

秋と春に、自然を楽しむウォーキングを実施した。秋には紅葉を楽しむ筑前～勝尾寺ウォーク、今春には新緑を楽しむ山科～大文字山ウォークに、多くの会員が参加し、楽しい一日をすごした。

今年度もチャリテイランは、わがクラブメンバーによる2チーム編成は無理であったが、ウォークならまだいけることが証明された。

(第4面につづく)

On May 22nd, a total 21 Y's men, Y's menettes, Y's men guests from another clubs and other guests were in attendance at the club's May meeting, which was named the "Difference Day Gathering" to promote our activities to the prospective candidates.

We had two distinguished guest speakers, Ms. ADARSH SHARMA, representative of Nara Family & Friend who is from India and Ms. JUNKO NAKAGAWA, chief managing director of the Nara NPO Center.

Ms. SHARMA spoke on the subject, "Japanese Society from Indian perspective". Since coming to Japan in 1979 as a fellowship student of the Nara Women's University, she had spent her life in Nara, ancient capital of Japan, for a quarter century. What impressed her most in Japan soon after she came here was uniformity of the Japanese society. In India, there are a large variety of races, religions, cultures, languages, food and costumes and so on and people living in the society of the hereditary social class system, "caste".

She, however, invited our attention to the fact that biased view of Japanese people against minority still exist despite the seeming equality of the Japanese society on the surface. We were impressed with her speech and felt that truly impartial society could not be built without understanding the minority in term of their mind and conducts.

Following the speech, we experienced some mimic programs under the skilful guidance of Ms. JUNKO NAKAGAWA, through which we learnt how we felt when we were the minority among the whole group.

IBCクラブニュース

IBC・DBC委員長 藤原 正巳

"Aloha from Hawaii"

ハワイ Nuuanu クラブ・プリテンから

- 新入会員の入会式がありました
このたび Wayne Hirano さんが入会され、5月27日に入会式が行われました。これでヌアヌクラブの会員数は19人となりました。
- ヌアヌクラブは5月29日にチャーター40周年を迎えます
新会員の Wayne Hirano さんが責任者となり、6月10日または11日に記念行事が実施される予定です。

♂

2003/2004年度クラブ運営を振り返って

(第3面からの続き)

☆ ネット会 (会長:松浦 和子)

1. 中西部での活動

坂本ネットが今期中西部ネット主査に就任されたので、ネット全員で協力し、あぶらとり紙の販売、また3月の合同ネット会に向けてブーケクリップの制作に、はげめました。合同ネット会は、メンの協力も得て、多くの参加者があり、桂 吉弥さんの断を楽しみました。

2. 9月ネット月間

オオサカサンパレスで会合したあと、万博公園を散策する例会をもちました。22人が参加され、なごやかにすごし、好評だったことをうれしく思います。

3. 広報誌の発送の奉仕

「YMCA」と「大阪青年」の封入・発送の奉仕を毎月行いました。また「関西のちの電話」広報誌の封入・発送の奉仕、またバザーの奉仕も行いました。

4. YMCA、ワイズの行事への参加・協力

土佐堀カーニバルで、バザーの運営とポップコーンの販売に努めました。またチャリテイランにも参加しました。

☆ 広報 (委員長:石津 雅人)

何もしないうちに一年が過ぎてしまっていました。ホームページも一応は立ち上げたのですが、更新がままならず広報の役目を果たせなかったようです。

まあ5月のデファレンスデーの案内を、何とかホームページで作成できましたが・・・ホームページの更新は、今後効率良く出来るように改善したいと思います。この1年、何もできず、反省するばかりです。

☆ Yサ・ユース (委員長:新保 正秋)

今年の計画の、YMCAとの意思疎通の促進は、主として連絡職員さんを通じて努力し、相互理解はできたと思う。チャリテイランには3チームを送ることができた。土佐堀カーニバルでは、バザー、館内清掃、ポップコーンの販売(ネットさん)等を担当した。

また、大阪YMCAのミャンマーチャイルドケア事業への支援も引き続き実施することができた。

(以上)

♂ 当日は会員家族、友人、新会員候補者を招待し、祝賀会の形式で開催されます。

- ラスベガスでのハワイ地区大会に会員4人が出席します

出席予定者はLarry Hiranaka, Jimmy Ouchi, Steve Wong, Maurice Shimonishiの4氏で、クラブから各出席者に200ドルが補助されます。

お知らせ

1. 第7回 西日本区大会
日 時：04年6月12日(土)～13日(日)
場 所：加賀・山代温泉 ホテル百万石、加賀市文化会館
2. 第7回 中西部会 (第1報)
日 時：04年10月2日(土) 場 所：“pia NPO”
セレモニー13:30～ / クルージング16:00～
なお、会費は3,500円。ホストは 大阪ヴェクセルクラブ。
3. 大阪千里クラブ 創立30周年記念祝会
日 時：04年6月19日(土) 18:30～
場 所：新阪急ホテル 会費：6,000円
4. 和歌山紀ノ川クラブ20周年記念祝会
日 時：04年7月3日(土) 10:30～
場 所：ホテルアパローム紀の国 会費：6,000円

5月 BF ニュース

【 Report of the Brotherhood Fund in May 】

BF 委員長：栗山 佳三

- ◇現金提供者：栗山、山田君
◇切手提供者：山田、栗山君
今月の殊勲賞：山田君 185gr

5月第2例会

【 Report of the April Club Meeting 】
(5月26日(水) 18:30～20:00 大阪YMCA)
書記 山田 孝彦

1. 6月第1例会プログラム
第1面のとおり。山口 幸氏をゲストスピーカーに迎える。
2. センテニアルクラブ関係 今後のスケジュール
・7月24日(土)「フレンドシップキャンプ」のプレ・キャンプ(諸準備)
・8月1日(日)「いのちの電話」チャリティコンサート
・8月4日(水)「なかのしまクラブ」ビアパーティ
・8月11日(水)～17日(火) ワイズ国際大会(インド)
・8月23日(月) 8月第2例会
・8月25日(水)～28日(土)「フレンドシップキャンプ」
・9月15日(水) 9月第1例会=ビアパーティ
フレンドシップキャンプの慰労会を兼ねて行う。
*6月、7月、8月の第1例会は、定例どおり第3水曜。
*6月、7月の第2例会も、定例どおり第4水曜。
8月第2例会のみ上記のとおり変更あり。

3. 「フレンドシップキャンプ参加者募集」の広告
①朝日新聞：5月24日夕刊10面「お知らせ」欄に掲載
②関西テレビ：毎日11:30～コマーシャル
さらに今後とも繰り返し掲載あるいは放映があるのでご注目ください。
4. 次期メネット事業「スペシャルオリンピックス支援」
Tシャツの販売@1,500円。申込については追って連絡があります。

YMCA ニュース

大阪YMCA統括本部 浜野 昌保

○ 土佐堀YMCA運営委員会の委員長に、わがクラブの松浦 孝次氏が7月1日から就任されることが、5月の常議員会にて承認されました。西YMCA時代から永年重責を担われてきた尾崎 琢磨氏からバトンを受け、土佐堀YMCAの舵取り役としてご幸仕いただきます。

これに伴い職責上、大阪YMCA常議員にも就任されます。皆さまも新委員長を盛り立てて土佐堀YMCAへのサポートを今後ともよろしくお願いたします。

ちなみに、土佐堀YMCAの職員の責任者は、前連絡主事の神田 尚人館長です。

○ 土佐堀YMCAが、「多文化共生こどもサミット～フレンドシップキャンプ」の主催団体の一つとして事務局を担うことが、5月17日の土佐堀YMCA運営委員会で正式に決定しました。同時にクリスマス献金の支援プログラムとしても承認されました。ワイズとYMCAの協働プロジェクトとして、皆さまのご協力をよろしく。

○ 大阪YMCA第6回チャリティーゴルフコンペは、5月12日開催、55名の参加者。当日、チャリティーコンペ参加者から「聴覚障がい青少年国際キャンプ」へ約28万円の寄付をいただきました。

★第49回大阪南YMCA早天祈祷会
日 時：6月11日(金) 午前7時30分～8時30分
場 所：大阪南YMCA ライブラリー
証 し：石原 福造氏(大阪YMCA副総主事)
問合せ：大阪南YMCA Tel06(6779)8362

★第134回大阪YMCA早天祈祷会
日 時：6月18日(金) 午前7時30分～8時30分
場 所：大阪YMCA会館 10階チャペル
証 し：重信 直人氏(ウエルネス事業部スタッフ)
問合せ：大阪YMCA Tel06(6441)0894

THE OSAKA CENTENNIAL



ニコニコ・メッセージ



【 Messages from the Club Members 】

ゲストからのメッセージ

○今日は久しぶりに出席させていただき、有意義なお話しを聞き、印度のことや、奈良のNPOの活動について勉強をさせていただいて感謝です。グループでのゲームも楽しいコミュニケーションでした。また、近いうちに一緒に過ごしたく思います。

(なかのしまクラブ 今井 利子)

○ラベリングという無意識の心の垣根を自覚させていただきました。勉強になりました！ とても楽しい例会に参加させていただき、ありがとうございました。

(ヴェクセルクラブ 岩間 みどり)

○アットホームな楽しい企画、参加させていただき感謝です。着々と準備を進めていらっしゃるご様子。センターの底力を感じます。

(なかのしまクラブ 杉浦 眞喜子)

○日本語を教えています。学校では、学生はみんな平等だという認識のもとに分け隔てなく接していますが、ゲームで自分が少数派になって初めて心細さがわかりました。いい経験になりました。

(ヴェクセルクラブ 本田 繁子)

○異文化交流としてインドのお話しを聞くことができ、楽しくワークショップを体験することができました。よい時をありがとうございました。

(なかのしまクラブ 松下 広子)

○今回2回目の参画ですが、とても和やかなムードで日頃からの皆さんの交流の深さを感じられます。講義はいつも新鮮な発見があり有意義です。(焼野 嘉津人)

“ごぶさた”メッセージ

○いつもご連絡とお問合せをいただき、ありがとうございます。今月は全ての会合に欠席させていただくほかありません。(永島 肇)

○第1例会当日は、DAC(同志社アーモスト館在寮OBの会)の総会・創立記念式典に出席のため、申しわけありませんが欠席します。ご盛会をお祈り申し上げます。(福永 嘉彦)

○土曜と日曜はちょっと出にくい状態ですので、申しわけありませんが欠席とさせていただきます。

(鎌田 史朗)

会員からのメッセージ

○インドについてのお話大変興味深く聴かせていただきました。インドについて今までにない正しい知識を得ることができました。(石津 雅人)

○お二人の講師の珍しい、また楽しいお話しと実習をありがとうございました。(黒田 敏之)

○インドのお話し、とくに民主主義の国であることを勉強しました。ゲームも十分考えさせられました。ありがとうございました。(隅田 恵子)

○シャルマさんのお話しでインドとの距離が少しでも縮まりました。仲川さんの異文化体験ワークショップ、やはり体験が大事ですね。素晴らしいお話しでした。

(中村 茂高)

○アダルシュ・シャルマさん、仲川さんのお話しは、やはり若者にも聞いてほしい内容でした。みんなで心を開いて助け合いたいです。(中村 幸枝)

○今日は大阪YMCA会館へお越しいただきありがとうございました。また皆様、ぜひYMCA会館をご利用ください。(浜野 昌保)

○異文化理解と共生を考える、まことに意義深いイベントでした。非ワイズメンの動員ができなかったことを反省しています。(藤原 正巳)

○さわやかな春の日の大文字山ハイキングは、とても気持ちよく楽しかったです。お世話くださった方々ありがとうございました。インドのお話しは珍しく聴かせていただきました。仲川さんの異文化ワークショップも面白かったです。(松浦 和子)

○なじみあるお二人のお話しとワークを楽しみ、勉強しました。異文化をどれだけ意識の中で受け止められるか、われわれ日本人にとって大きな課題ですね。

(松浦 孝次)

○楽しみながら国際理解の勉強ができました。参加できなかったメンバーの人は残念でしたネ。世界の文字の識別クイズではメネットさんが高得点、さすが世界を旅しているメネットさんですね。(山田 孝彦)

○多文化共生は、こだわりを持たない心で生まれると思いました。(三浦 直之)



(5月第1例会の風景 ③ 仲川さんとシャルマさんから、異文化を本当に受け入れるには・・・を学んだ)

《 編集後記 》

いよいよ今期を終えるにあたって、クラブ会長と役員の方々に今期を振り返って評価をしていただきました。提出順に掲載しました。

見やすいブリテンにと、内容、活字の種類・大きさ、写真を工夫するのですが、総体に文字数が多すぎるのでしょうか。いささか見るのに シンドイ紙面もありました。悩んでいます。

今年度も、「例会の英文報告」の作成を藤原メンと谷川寛メンに、また「ニコニコメッセージ」の入力を石津メンに、お願いしました。

(松浦 孝次)